



一般社団法人富山県臨床検査技師会
令和3年度第2回理事会会議議事録

開催日時	令和3年5月13日(木)14時30分～
開催場所	富山県医師会館 4階大会議室
出席理事	南部重一、澤井真史、上野智浩、村椿智佳子、中河竜也、石川幸和、油谷智史、稲垣規子、柏原早苗、西村直子、宮腰希望、柴野亜希子、洲崎そのみ、田近洋介、横井優紀、青木貴子、成瀬里恵、谷口直美、岩崎浩、辻田由加利、長谷川陽子、平田和佳子、
欠席理事	武島千尋、江平寿也、矢野彩子、幹事：金山 昌子、成瀬 智
会議次第	I. 開催の挨拶 II. 出欠の確認 III. 議題 IV. 報告事項 V. 今後の日程 VI. その他
会議内容	<p><u>I. 開 会</u></p> <p><u>II. 出欠の確認</u></p> <p>出 席 <u>22名</u> 欠 席 <u>3名</u> (委任状3名)</p> <p><u>III. 議題</u></p> <p>1. 令和3年度富臨技定時総会の開催について 令和3年5月29日(土) 14:00～15:00 富山県医師会館4階</p> <ul style="list-style-type: none">・13時00分～13時30分 会場設営 (マイク、机、イス)・13:40～富山県部門功労表彰式典：65周年記念事業での受賞者2名/4名推薦 受賞者 今村 伸一、柴田 正信 授与者 富山県厚生部より 厚生部長 厚生部医務課長 医務課 片岡 主幹・13:50～富山県永年職務精励者表彰：8名 代表 林 宏(富山市民病院)・14:00～15:00 定時総会 書面表決形式・理事・一部会員のみ参加 <p>1) 議案</p> <ul style="list-style-type: none">第1号議案 令和2年度 事業経過報告 : 澤井副会長第2号議案 令和2年度 決算報告 : 青木会計部長 監査報告 : 監事 成瀬 智第3号議案 令和3年度 事業計画(案): 澤井副会長第4号議案 令和3年度 予算(案): 青木会計部長 <p>2) 役割分担別紙参照(修正)</p> <p>総 括 南部 重一(富臨技会長) 総司会者 村椿 智佳子(富臨技事務局長:富山市民病院)</p>

会場責任者 油谷 智史 (学術部長：高岡市民病院)
 写真撮影 田近 洋介 (富臨技広報部長：済生会富山病院)
 会場設営 (マイク等) 理事全員
 受付担当 出席者、書面表決者を資格審査委員に報告
 宮腰希望 (公益部長：高岡市医師会臨床検査センタ)
 谷口直美 (学術副部長：富山県健康増進センター)
 記録担当 質疑応答等の記録
 中河 竜也 (事務局次長：厚生連高岡病院)
 江平 寿也 (広報副部長：かみいち総合病院)
 議長 選任 林 宏 (会員：富山市民病院)
 執行部報告者 澤井、上野副会長…第1号議案、第3号議案、
 青木会計部長 …第2号議案、第4号議案
 会計監査報告 監事 成瀬 智
 資格審査委員 委員長 (理事) 富1区：石川幸和 (事務局部員：富山市医師会)
 副委員長 (会員)：老田 紀子 (会員：横田病院)
 議事運営委員 委員長 (理事) 高岡区：油谷智史 (学術部長：高岡市民病院)
 副委員長 (会員)：樋口 颯子 (会員：富山県立中央病院)
 総会書記 (理事) 富山1区：長谷川 陽子 (精度管理部員：富山市民病院)
 (会員) 高岡地区：清澤 麻紀子 (会員：厚生連高岡病院)
 議事録著名人 (理事) 高岡地区：中河 竜也 (事務局次長：厚生連高岡病院)
 (理事) 砺波地区：岩崎 浩 (精度管理部長：市立砺波総合病院)

2. 組織図ならびに規程の変更

1) 機関及び運営組織図

名称変更：基準値統一委員会→富山県臨床検査データ標準化委員会
 遺伝子部門追加

2) 表彰規程

定期総会→定時総会

3) 名誉会員表彰内規

定期総会→定時総会

IV. 報告事項

1. 日本医学検査学会

5月15日(土)～6月14日(月) Web学会 (オンデマンド開催) 5000円
 開会式・表彰式、講演会3本：ライブ配信
 座長：富山県2名担当

2. 日臨技 令和3年度定時総会

令和3年6月26日(土) 午前10時より Web形式

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 5階

議決権行使サイトから行う「電磁的方法」又は「書面」の郵送による議決権行使

議決権行使書回収手数料について都道府県単位の総会出席実績に応じて
出席実績 66.7% (県会員の 2/3) 以上の場合 : 70 円/出席者数 1 名当に対し
同 50%以上~66.7%未満の場合 : 50 円
同 50%未満の場合 : 0 円

各施設での声掛けと働きかけを願いたい。

富臨技の受領率 70%達成できるように行使されて無い方への啓発をお願いする。

R2 年度からの繰越金 7~8 千万円を含めた R3 年度の事業計画等

3. 「臨床検査技師へのタスクシフト/シェアに関する指定講習会」実技講習備品について (通知) 別紙参照

実技講習部品の発送 : 6/15 までに各都道府県技師会事務局宛てに届く

県技師会単位での講習会用に実技備品配布 : シュミレーター等々

今年度 7、8 月から具体的なスケジュールスタート予定。

ワーキンググループを立上げリーダーを決めて複数人での実施計画を企画推進する。

8~9 月中部圏支部で代表 4 名 (愛知県) が中央の実技講習会指導者講師研修会参加。

日臨技 Web サイトで座学終了後各県支部開催の実技研修会となる。

愛知県主催で各県に富山県代表者が参加し、持ち帰り講習を行う。

1 講習会あたり 4 名程度で指導×5 年間 : R3 年度は 2 回開催 / 今年度~R7 年の 5 年間継続事業。

現行制度で実施可能な 18 項目についても指導講習会を実施

富山県目標値 500 名でプランニング :

R3 で 70 名×2 回 (30~50 名 / 研修会)

R4 で 150 名×4~5 回 (30~50 名 / 研修会) 臨地実習の指導者講習会

4. 各部局報告

1) 事務局

富山県技師会員数報告 551 名 (2021/5/13/14 時時点)

新規富臨技入会申請者 1 名の読み上げ紹介を持って入会承認を得た。

2) 会計部

収入 3/26 3,333,000 円

R3 年度会費入金 6000×547 名 3282000 円 (予算 565 名)

R3 年度入会金入金 1000 円×1 1000 円 (予算 24 名)

R2 年度臨床総合部門研修会助成金 50,000 円 (富山県学会での研修会)

4/27

R2 年度会費入金 6000×8 名 48000 円

R2 年度入会金入金 1000 円×1 1000 円

賛助会費 (4 月末日まで)

30000×32 社 960000 円 (予算 49 社)

広告収入 (4 月末日まで)

20000×8 社 160000 円 (予算 21 社)

生涯教育の申請、研修会申請：1

R3 年度第 1 回生物化学生物化学分析部門研修会 8/1 予定

3) 精度管理部

4 月 28 日 (水) 富山県精度管理協議会

4 月 10 日 各部門 JAMTQC 講習会を開催した。

- ・ 生化学部門を臨床化学に名称変更
- ・ 基準値統一化委員会を富山県臨床検査データ標準化委員会に名称変更
- ・ 遺伝子部門の設立：立上げの R3 年度は実態調査アンケートの実施にて活動開始
コロナの PCR 精度管理の実施は来年度日臨技の動きを見て計画する。
予算化は先送り、費用面での再検討が必要。
- ・ 生理部門 血液ガスサーベイ試料作成会社の都合により 9 月末での実施予定に
北陸三県合同事業にて、製造試料の調達が困難なため実施が遅れる。
申し込みの時点で、参加費が 1 万円

今回実施した場合、次年度も血ガス試料を作成しなければならない。

数年分のプール検体のストックがなくなり新規で作成するため、インキュベートの必要性のな試料作成予定で、次年度以降は血ガス試料価格が 3 倍強となる。

1 分野 3000 円、8 分野 1 万円の金額設定の妥当性を検討し、価格設定を見直す。

JAMTQC のシステムをしっかり学ぶことが課題：部門長の申し送り研修では困難。

日臨技に準じ、富臨技として基準・評価を設定、JAMTQC のシステムを熟知。

4) 学術部

会議開催 4/26 第一回学術部門会議 Web 15 名

昨年度の活動報告と今年度の活動予定、学会予定について

研修会予定 8/1 R3 年度第 1 回生物化学生物化学分析部門研修会

共催・後援 5/28 日本新薬 PHWeb セミナー in 北陸 心エコー講座

7/31 肝がん撲滅フォーラム 2021

11/13～12/15 日本睡眠検査学会 Web オンデマンド 第 2 回日本睡眠検査学会学術集会

5) 広報部

HP：コロナ関連事業、学会関連事業更新

トピックス、コーヒーブレイク依頼

6) 公益事業部

いきいきとやま：式典のみ？

検査と健康展：R3 年度全国「検査と健康展 inTOYAMA」での予算申請、企画書提出。

昨年度同様、今年度の県内イベントは中止の方向？。

中央会場のみ開催の可能性あり。

ワーキンググループ、Web 開催など他県の状況を参考にしてみる。

V. 今後の日程

5/29 (土) 富臨技定時総会
6/10 (木) 第3回理事会

VI. その他

1. 日臨技中部圏支部医学検査学会 (第59回) について

展示 11、広告 23、協賛 10、セミナー3

支部シンポジウム 富山県：河上氏担当

一般演題：5/17 まで締切再延長、

5/13 現在で 88 演題のエントリー (富山 37、愛知 30、他 9+1)

PCO との協議後改めて発表登録方法を掲載予定。

後援依頼：富山県、富山市、医師会へ打診する。

学会実行委員と各施設長宛てに委嘱状の発送予定。

各企業宛てに協賛、企業セミナー、機器展示依頼をメーカーに働きかけていただきたい。

日臨技からの学会費 440 万円程度 (中部圏支部会員×500 円) の入金予定。

全国学会

日臨技企画：1 時間枠で確保予定。宮島会長の基調講演。

富山県臨床検査技師会企画：タスクシフト、品質保証認証制度の 2 本。

丸田副会長、滝野理事に依頼しオンデマンド配信予定。

特別講演：富山大学新見先生を予定。

支部シンポジウム：8 部門各 90 分枠で企画。

今回の中部圏支部学会 Web 開催を広告、アナウンスしていく。

議事録署名

会議議長 南部 重一

議事録著名人 澤井 真史

書記 村椿 智佳子